「大阪マラソン」に関するアンケート

１　調査概要

　(1)　調査目的

大阪府では、令和６年2月25日(日)に「大阪マラソン2024」を開催した。本調査において、府民の大阪マラソンの認知状況や参加形態等を把握し、今後の施策の検討資料とする。

　(2)　調査（検証）項目
・認知状況

 ・参加形態

　・評価

　(3)　調査対象及びサンプル数

　　国勢調査結果に基づく性・年代・居住地（４地域）の割合で割り付けた18歳以上の大阪府民1,000サンプル

　(4)　実施期間

　・令和6年2月２6日～2月28日

２　調査結果

* 主なものについて記載

・大阪マラソン2024の認知状況については、「開催前から知っていた」が64.0%であった。

・大阪マラソンを開催前から知っていた人及び開催中に知った人のうち、ランナー、ボランティアとして参加した「積極的関与者」は2.6％、コースや沿道、テレビ、ラジオ等で観戦した「消極的関与者」は34.3％、観戦しなかった「非関与・無関心者」は62.9％であった。

・大阪マラソンの各評価項目（プラス評価：観光名所を巡る良いコース、都市の新しい「祭り」の形、まちの活性化・経済効果が期待できる、大阪の魅力を大阪の人以外にも知ってもらえる良いイベント。マイナス評価：交通規制で日常生活が不便になる、コース周辺がゴミで汚される）について、「まさに」と「ある程度」を加えた「そう思う」割合をみると、４つのプラス評価項目に関しては、「観光名所を巡る良いコース」が55.1％で最も高く、他の３項目とも40％を上回った。また、２つのマイナス評価については、「交通規制で日常生活が不便になる」が40%を上回ったが、「コース周辺がゴミで汚される」は40％を下回った。